

防露式密結ロータンク

※品番は代表的なものを例示
DT-Z380型
DT-Z350型



メーカー専用

施工説明書に記載の二次元コードから動画で各情報をご覧いただけます。

- ※通信料はお客様ご自身の負担となります。
- ※使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。
- ※実物と動画のデザインが異なる場合があります。

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。
お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

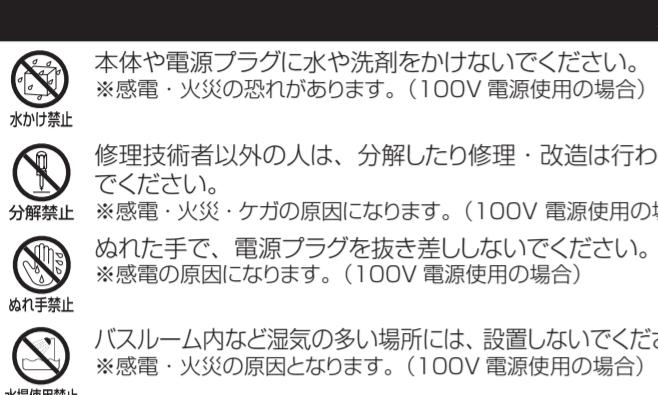
- 便器を取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
- 施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- | | |
|--|--------------------------------------|
| | 「注意しない！」
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。) |
| | 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。) |
| | 「指示通りにしない！」(一般的な行動指示記号です。) |

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



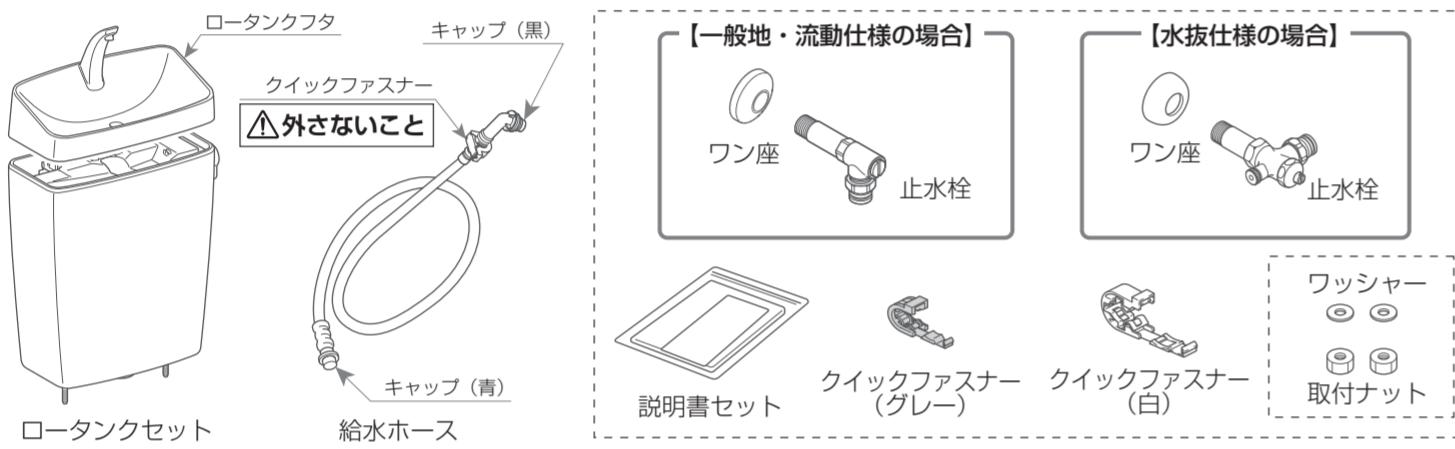
警告

- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※感電・火災の恐れがあります。(100V 電源使用の場合)
- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災・ケガの原因になります。(100V 電源使用の場合)
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。(100V 電源使用の場合)
- バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
※感電・火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)
- 水場使用禁止

注意

- 陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。
- お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



株式会社 LIXIL ●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客様相談センターへ

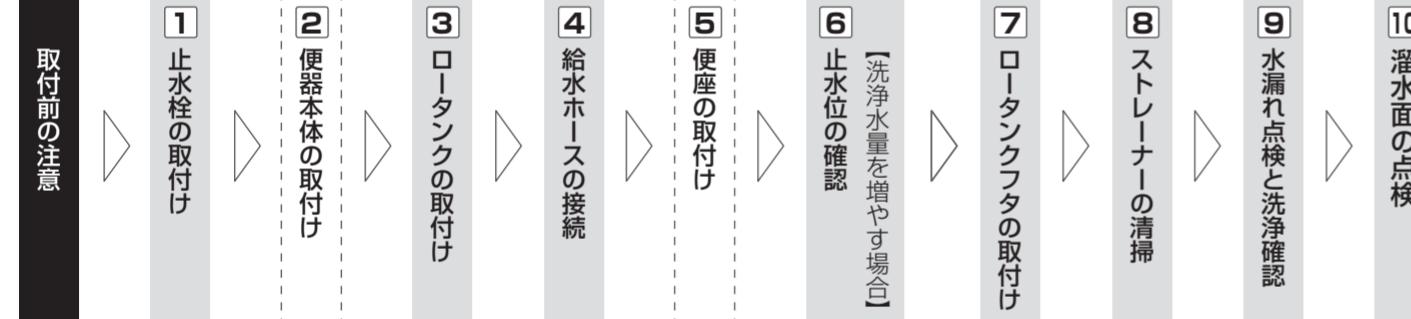
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

施工手順

は本書を、**□**は各種仕様、商品の施工説明書に従って正しく取り付けてください。

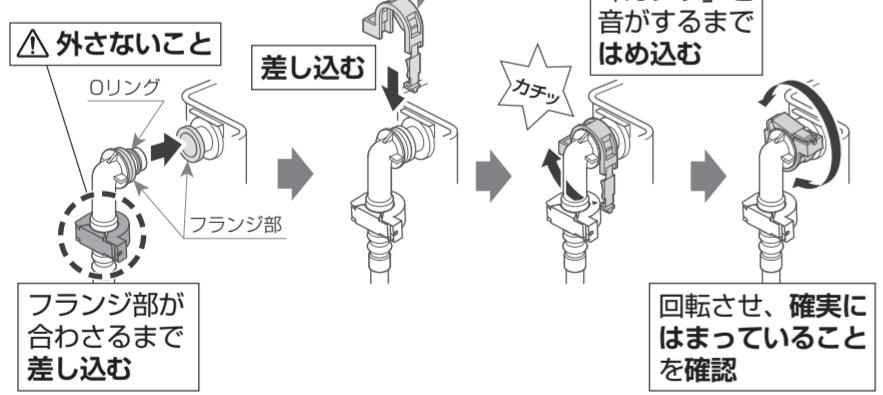


取付前の注意

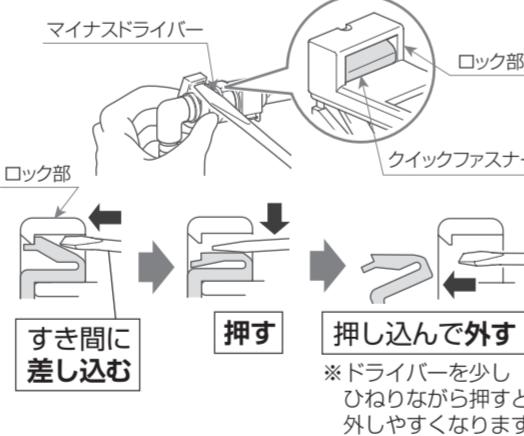
Point 1

クイックファスナーの取付け

※図はボールタップ側を示す。



クイックファスナーの取外し

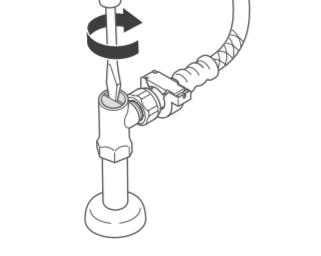


Point 2

止水栓を開く



止水栓を閉じる



●止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷をつける恐れがあります。

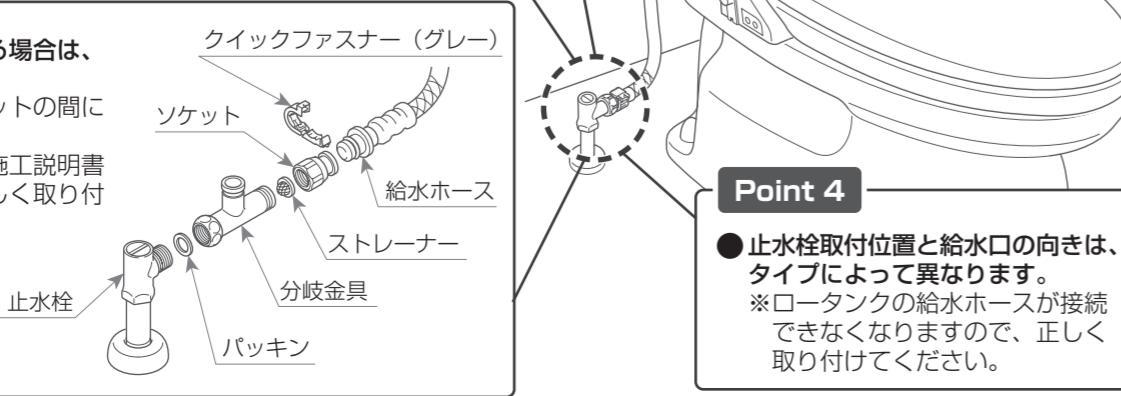
※マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。

Point 3

シャワートイレを取り付ける場合は、別途、分岐金具が必要です。

※分岐金具は止水栓とソケットとの間に取り付けてください。

※シャワートイレに同梱の施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。



Point 4

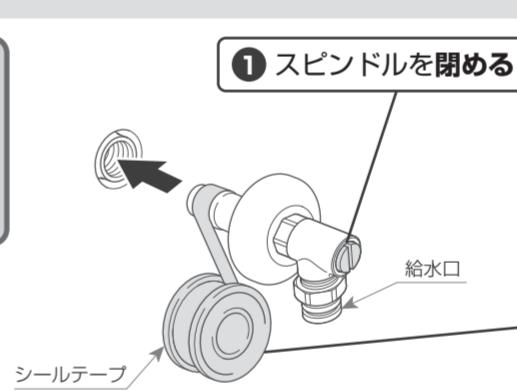
●止水栓取付位置と給水口の向きは、タイプによって異なります。
※ロータンクの給水ホースが接続できなくなるまでの、正しく取り付けてください。

施工方法

1 止水栓の取付け

注意

- 止水栓の給水口の向きに注意して取り付けてください。
※ロータンクの給水ホースが接続できなくなります。



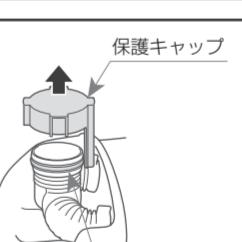
止水栓を取り付ける

2 便器本体の取付け

① ディストリビューターの保護キャップを上方に真っ直ぐ外す

注意

- 必ず保護キャップを外し忘れないでください。
※タンクまたはシャワートイレと正常に施工できず漏水の原因になります。
- 必ず接続パッキンが取付いていることを確認してください。

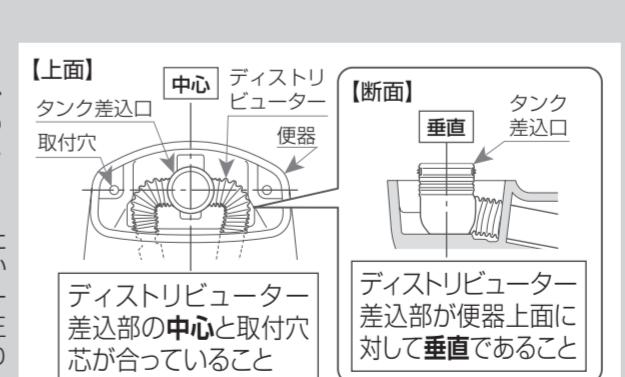


② タンクを差し込む

注意

【ロータンク設置前】

- ディストリビューターを確実にめ込むために、以下の点に注意してタンクを設置してください。
- ※下記2つの条件を満たさない場合は、便器からディストリビューターをいったん取り外し、正しい位置と角度に取り付け直してください。



【ロータンク設置時】

- ディストリビューターは、必ずタンク差込口に真上からめ込んでください。
※漏水の原因になります。



【ロータンク設置後】

- フラッパー弁を上げて、ディストリビューターが正しく差し込まれていることを確認してください。
※ロータンクが正しく取り付けられていないと、ディストリビューターが変形し漏水・止水不良の原因になります。



③ ワッシャー、取付ナットでロータンクを固定

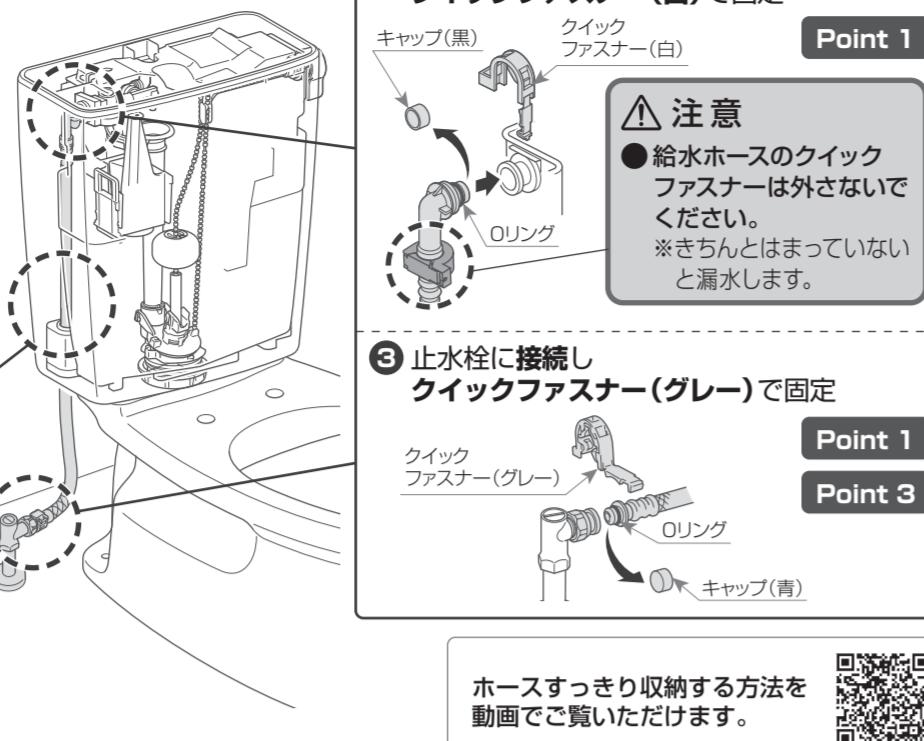
注意

- ロータンクを背面側に押しつけて施工しないでください。
※タンクが破損して、漏水の原因になります。
- ナットは片利きのないように左右繰り返し、少しづつ締め付けてください。
※陶器が割れる恐れがあります。
※漏水の原因になります。

4 給水ホースの接続

△ 注意

- Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込んでください。
※きちんとまつてないと漏水します。
- 給水ホースは鋸角に曲げないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



① キャップを付けたまま ロータンク下部の 穴に通す

※給水ホースが曲がっている場合、少しながらしてまっすぐにすると穴に通しやすくなります。

穴に通す
キャップ(青)

5 便座の取付け

※施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

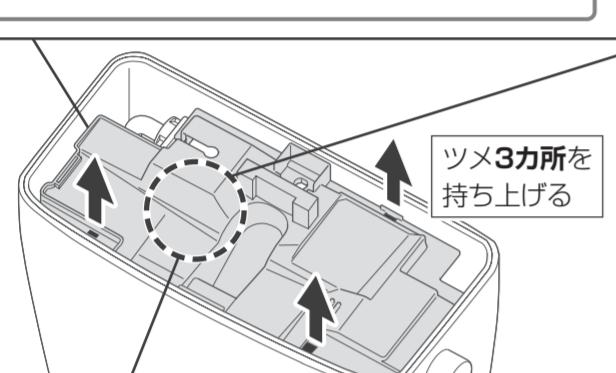
6 止水位の確認

① 内フタを取り外す

【洗浄水量を増やす場合】

洗浄水量を増やす場合（大洗浄約8L）の手順④

以降を参照して、洗浄水量の設定を変更してください。



② 接続管を下に向ける

△ 注意 ●止水栓を開く前に、ボールタップの接続管先端を下に向けてください。

【手洗付の場合】

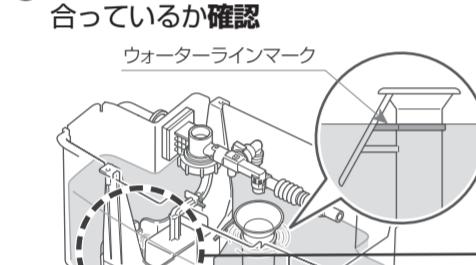
接続管
先端を下に向ける

【手洗なしの場合】

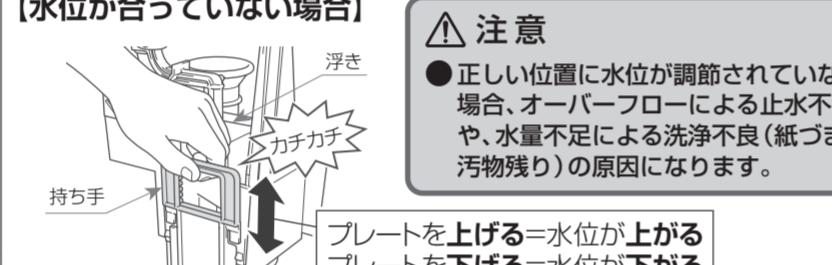
接続管
先端を下に向ける

③ 止水栓を開く Point 2

④ 水位がウォーターラインマークに合っているか確認



【水位が合っていない場合】



9 水漏れ点検と洗浄確認

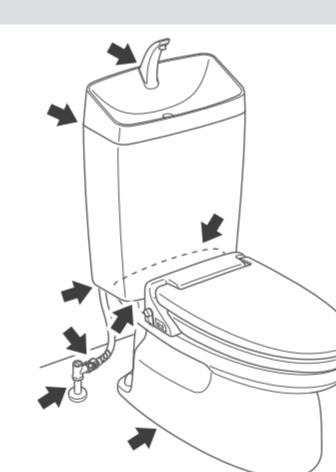
① 便器洗浄を数回繰り返し、各接続部に漏水がないか確認

※洗浄した際、約5分程度水が流れます。

止水不良ではありません。

△ 注意

- 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。
※洗浄不良や止水不良の原因になります。

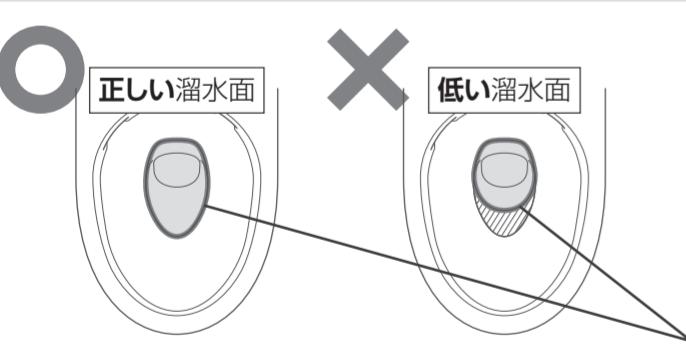


② フロート弁の開閉、ボールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合など、ロータンク内部金具に不具合がないか確認

③ 洗浄確認

※長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が、1回の洗浄で排出できることを確認します。
1回で排出できない場合は、フロート弁やその他の内部金具を点検します。

10 溜水面の点検



△ 注意

- 溜水面が低いと以下の現象が起こる原因となります。
 - ・便器に汚物が付着する場合があります。
 - ・封水切れによる臭気上がりや衛生害虫等の侵入が起こる場合があります。
- 排水管に曲りが多くったり、通気が不十分だった場合、溜水面が低下する場合があります。

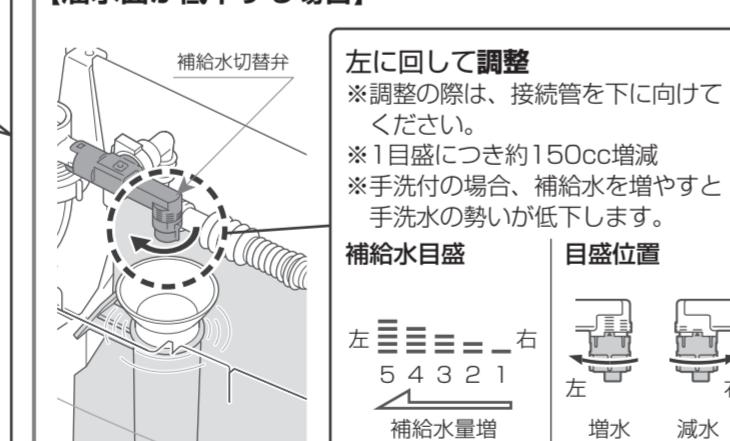
【溜水面の判断に迷った場合】

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、溜水面が上昇しない場合は正常です。

① 洗浄ハンドルを回し、便器洗浄する

② 溜水面が下がっていないか確認

【溜水面が低下する場合】



便器、タンクともに陶器表面に傷などがないか確認
※陶器表面に金属類（工具や装飾品）が接触したり、こすれたりすると黒色、銀色などのスジ状の痕がつく場合があります。

【痕がついた場合】

市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。

【ロータンクに給水しない場合、または水を流してから5分以上便器鉢内に水が流れ続ける場合】
ダイアフラムパッキンの清掃をしてください。

清掃方法は動画でご覧いただけます。

施工後の確認

【お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合】

① 止水栓を閉じて、給水を止める Point 2

※寒冷地水抜式は、室内の水抜栓を操作してください。

② 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

③ 給水ホース内の水を抜く

【水抜方式の場合】

水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

水抜栓
閉まる

開く

△ 注意

- 水を抜いた後は水抜栓を閉めてください。
※漏水の原因となります。

7 ロータンクフタの取付け

① 止水栓を閉じる Point 2

② 内フタを取り付ける

【手洗付の場合】

① 接続管を上に向ける

③ 接続管を穴に通す

② 内フタを取り付ける

④ この位置ではめ込む

△ 注意 ●はめ込みないと給水蛇腹管が外れ、漏水する恐れがあります。

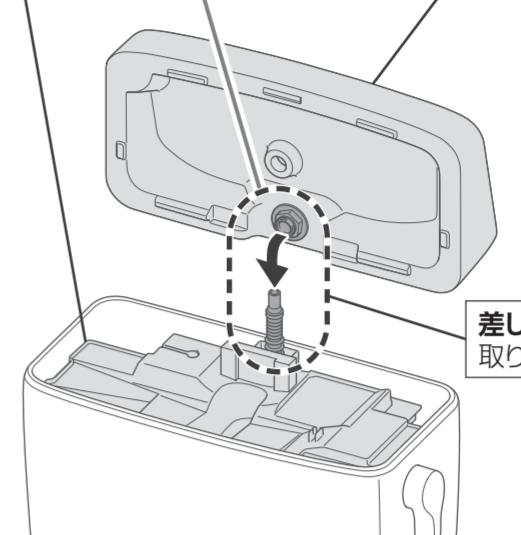
③ ロータンクフタを取り付ける

△ 注意

- ロータンクフタを落とさないよう注意してください。
※破損しがかかる恐れがあります。

【手洗付の場合】

- 接続管は内フタにしっかりとめしてください。ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※漏水の原因になります。



差し込むようにして取り付ける

8 ストレーナーの清掃

① クイックファスナー（グレー）を外す Point 1 Point 3

② ソケット、ストレーナーを止水栓から取り外す

外す

③ ストレーナーを清掃

④ ストレーナー、ソケットを止水栓に取り付ける

※手でいいだけに締め付けてから工具で締めしてください。

⑤ 給水ホースをクイックファスナー（グレー）で固定 Point 1 Point 3

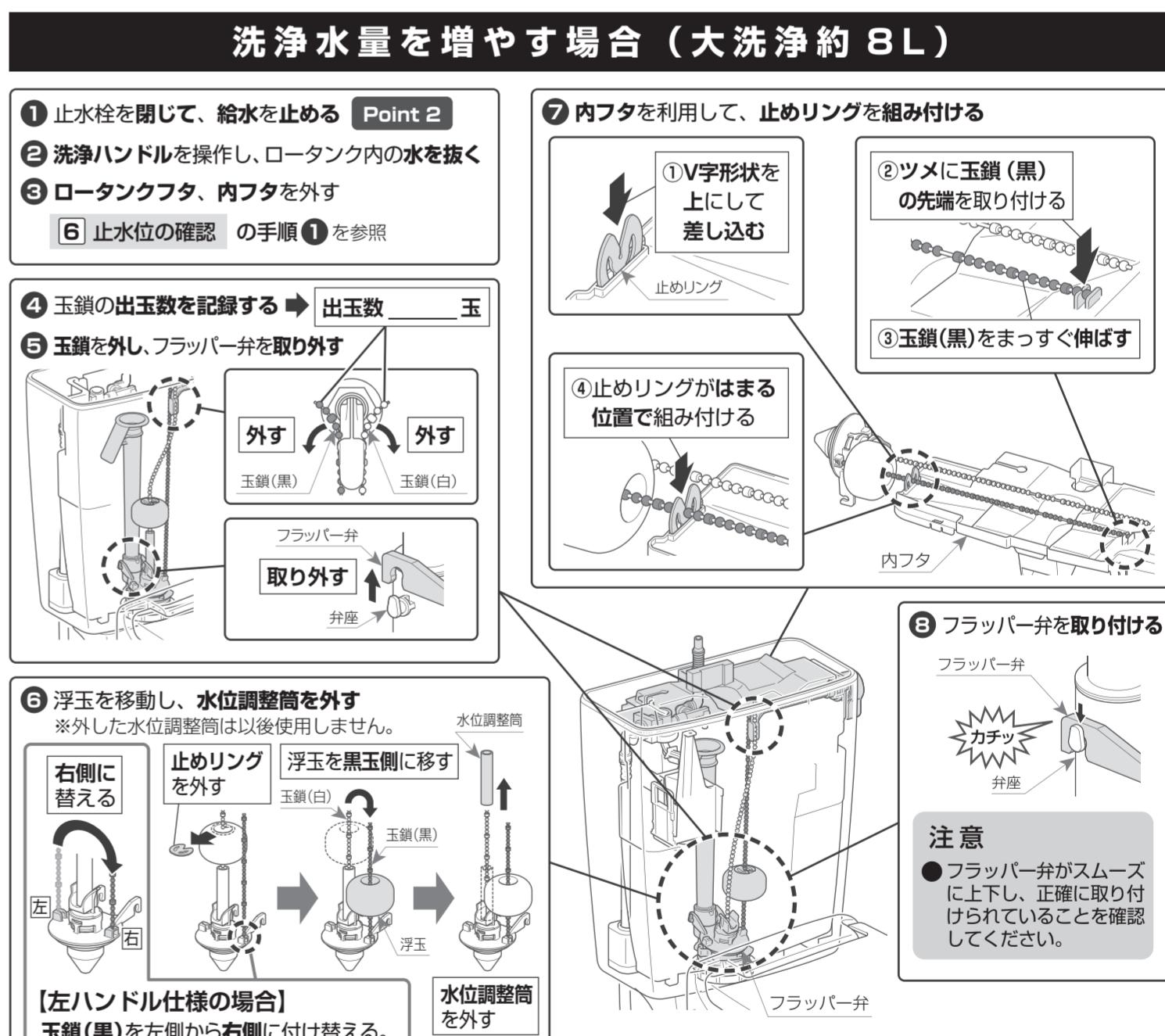
清掃方法は動画でご覧いただけます。

QRコード

⑥ 止水栓を開く Point 2

△ 注意

- Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込んでください。
※きちんとまつてないと漏水します。
- 給水ホースは鋸角に曲げないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



洗浄水量を増やす場合（大洗浄約8L）

① 止水栓を閉じて、給水を止める Point 2

② 洗浄ハンドルを操作し、ロータンク内の水を抜く

③ ロータンクフタ、内フタを外す

④ 止水位の確認 の手順①を参照

④ 玉鎖の出玉数を記録する → 出玉数 玉

⑤ 玉鎖を外し、フラッパー弁を取り外す

外す

外す

⑥ 止めリングをはまる位置で組み付ける

⑦ 内フタを利用して、止めリングを組み付ける

① V字形状を上にして差し込む

② ツメに玉鎖（黒）の先端を取り付ける

③ 玉鎖（黒）をまっすぐ伸ばす

④ 止めリングがはまる位置で組み付ける

⑤ 止めリングをはまる位置で組み付ける

⑥ フラッパー弁を取り付ける

⑦ 玉鎖を取り付ける

△ 注意

- フラッパー弁がスムーズに上下し、正確に取り付けられていることを確認してください。

⑨ 玉鎖を取り付ける

△ 注意

- 玉鎖は手前側が白、壁側が黒です。

※反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。

【右ハンドル仕様の場合】 | 【左ハンドル仕様の場合】

玉鎖を手順④で記録した数にする

玉鎖（黒）は3玉残しにする

適切

クロスしている

たるみすぎ

張りすぎ

⑩ 補給水目盛を3に変更（⑩ 溜水面の点検 の手順②を参照）

⑪ ⑥ 止水位の確認 の手順②～施工後の確認 までを行います。

洗浄水量の増やし方は動画でご覧いただけます。

QRコード